令和3年2月第114回内子町議会臨時会会議録（第1日）

- 招集年月日 令和3年2月12日（金）
 ○開会年月日 令和3年2月12日（金）
 ○招集場所 内子町議会議事堂

○出席議員（14名）

1番 大西啓介君	2番 関根律之君
3番 向井一富君	4番 久保美博君
5番 森永和夫君	6番 菊地幸雄君
7番 泉浩壽君	8番 大木雄君
9番 山本徹君	10番 才野俊夫君
12番 林博君	13番 山崎正史君
14番 寺岡保君	15番 中田厚寛君

- 欠席議員 11番 下野安彦君

○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席を求めた者の職氏名

町長 小野植正久君	総務課長 山岡敦君
住民課長 二宮善徳君	税務課長 吉川博徳君
保健福祉課長 久保宮賢次君	経理課長 曾根岡伸也君
こども支援課長 前野良二君	会計管理者 田中哲君
建設デザイン課長 正岡和猶君	農林振興課長 山中保正君
小田支所長 畑野亮一君	環境政策室長 中嶋優治君
政策調整班長 上山淳一君	上下水道対策班長 上石富一君
危機管理班長 松岡裕樹君	商工観光班長 大竹浩一君
教育長 山岡晋君	学校教育課長 泉邦彦君
自治・学習課長 黒澤賢治君	
代表監査委員 赤穂英一君	農業委員会会長 堀本健二君

○出席した事務局職員の職氏名

- 事務局長 林純司君 書記 和氣啓介君

○議事日程（第1号）

令和3年2月12日（金）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
 日程第 2 会期決定の件及び議事日程通告
 日程第 3 招集あいさつ

- 日程第 4 議認第 1号 令和2年度内子町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて
- 日程第 5 議案第 1号 第52号 平成30年災林地道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事請負変更契約について
- 日程第 6 議案第 2号 内子町副町長の選任について
- 日程第 7 議案第 3号 内子町教育委員会委員の任命について
- 日程第 8 議案第 4号 内子町固定資産評価員の選任について
- 日程第 9 愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について
- 日程第10 内子町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
-

○本日の会議に付した事件

日程第1から日程第10

午前10時00分 開会

○議長（森永和夫君） ただ今、出席議員14名であります。欠席届が、下野 安彦議員から提出されております。

ただ今から、第114回内子町議会臨時会を開会いたします。本臨時会には、地方自治法第121条第1項の規定により、町長、教育長、代表監査委員及び農業委員会会長の出席を求めています。また、説明員として、出席通知のありました者は、総務課長及び各課長・班長等の17名であります。この際、本会議に説明員として出席される新任の方を紹介いたします。久保宮 賢次保健福祉課長を紹介いたします。

○保健福祉課長（久保宮賢次君） 議長。

○議長（森永和夫君） 久保宮保健福祉課長。

○保健福祉課長（久保宮賢次君） おはようございます。2月8日付で保健福祉課長の任を拝命致しました久保宮賢次と申します。新型コロナウイルスの対応のため、年度途中の異動となり、少し戸惑いもありますけれども、精一杯がんばっていく所存でございますので、議員の皆様のご指導をよろしくお願ひします。どうぞよろしくお願ひ致します。

○議長（森永和夫君） これより、本日の会議を開きます。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（森永和夫君） 「日程第1 会議録署名議員の指名」を行います。会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において、12番、林 博議員。13番、山崎 正史議員を指名します。

日程第 2 会期決定の件及び議事日程通告

○議長（森永和夫君） 日程第2 会期決定の件及び議事日程通告のうち「会期決定の件」を議題とします。お諮りします。会期は、本日1日限りとし、会議時間は議事終了時までとします。

これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ご異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日1日限りとし、閉会の時刻は、議事終了時とすることに決定しました。なお、本日の「議事日程」は、お手元に配布しております、議事日程第1号のとおりであります。

日程第 3 招集あいさつ

○議長（森永和夫君） 「日程第3 招集あいさつ」を町長より受けることにします。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

〔小野植正久長登壇〕

○町長（小野植正久君） 本日、ここに令和3年2月内子町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、公私共に大変ご多忙中にもかかわらず、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。私にとりまして本臨時会は、先般の内子町長選挙後、最初の議会でありますので、町長といたしまして町政を執行するに当たり所信の一端を述べさせていただきます、議員並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。私は、このたびの内子町長選挙におきまして、町民の皆様方から無投票という厳粛なるご信託を賜り、町長に就任いたしました。その責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。私はこの選挙にあたり、それぞれの地域を隅々まで回らせていただきましたが、改めて内子町の広さと様々な環境の中で暮らされている町民の皆様の実態を見させていただきました。農林業では、後継者不足や有害鳥獣の問題でありますとか、また、商工業においては、コロナ禍により大きなダメージを受けたことや従業員不足による経営の問題、その他にも子育て環境の改善や高齢者福祉の充実、インフラの整備など数多くの切実な声を聞かせていただいたところでございます。これらの声をしっかり受け止め、政策を着実に実行することで町民の皆様にお返しすることが私の役割であると考えています。

私が政策としてお約束いたしましたのは二つでございます。

一つ目は、感染拡大が続いております新型コロナウイルス感染症対策にしっかり取り組むことです。現在、新型コロナウイルス感染拡大により、町内においても飲食業や宿泊業などの商工業が大きく影響を受けております。そのため、商工会や関係機関と連携した地域経済を下支えする事業を早急に実施してまいります。また、感染収束の決め手となる新型コロナウイルスワクチン接種事業がいよいよ開始されます。愛媛県では、医療従事者への先行接種が3月中旬から始まり、その後、高齢者を優先に接種が行われる予定です。町においても接種体制を整えるため、2月8日付けで新型コロナウイルス感染症対策室を設置し、3名の人事異動を行いました。ワクチン接種を円滑に行うため、医療機関接種のほか、集団接種の実施を検討しておりますが、医師や看護師の確保、ワクチンの供給と適正管理など課題も多くあります。また、国が示す事業手順や内容が度々変更されるため、各自治体の事務に支障をきたしています。まだまだ不確定な部分もありますが、スピード感を持って接種体制整備を行い、住民の皆様が安心してワクチン接種をしていただけるよう取り組んでまいります。

二つ目は人口減少、少子高齢化対策についてです。内子町は合併して15年が経過しますが、

この間、5千人弱の人口が減少し、今年2月1日時点で、16,044人となっています。今後、何も対策を行わなければ、20数年後には約9,000人になると予測されています。人口が減少すると、経済が縮小して活力が失われるだけでなく、社会保障や地域コミュニティの崩壊などが起こってきます。私たちの町に関わる大きな問題であります。これまでに、人口減少を含む様々な課題の解決に向けて、各種施策に取り組んできたことで、内子町への移住者が増え、農産物の生産額が増加するなど、一定の効果が出てまいりました。この流れを絶やすことなく、さらに拡大していくことが必要であります。そのためには、本年度からスタートしております第2期総合計画・後期計画に掲げる「稼ぐ力をつける」ということと、「住み続けられるまちづくり」を推し進めることが大切であると考えています。これらのことにしっかり取り組んでいけば、人口減少、少子高齢化は必ず改善に向かっていくものと信じています。

そこで、私は次の項目を重点的に取り組みます。まず、農林業の活性化です。農林業の担い手を確保するため、Uターン者受け入れ制度の創設や、繁忙期の人出不足を解消する仕組みづくりに取り組めます。また、インターネット販売の促進や収益が見込める優良品種の農作物への誘導など、農家の所得増加に向けた取り組みを行います。

次に、商工業の活性化です。観光業などは新型コロナウイルス感染症の影響で大変厳しい状況ですが、必ず収束します。その時を見据えて地域資源を磨き、地域の魅力創出のために「新深山荘」や「森家」の整備を行います。観光客が増加し、交流人口が拡大することで、これらの業務に関わる人を増やし、商工業の所得向上を図ります。また、子どもたちが地元企業に就職するための支援制度を検討したいと考えています。

次に、子育て支援とふるさと教育の推進です。子ども医療費助成制度について、医療費の無料化を高校生まで拡大します。また、働きながら安心して子育てができるように、保育の受け入れ態勢など子育て支援の充実を図ってまいります。

そのほか、子どもたちが地域の歴史や文化に触れ、町内の産業を学ぶことで、自分たちの住む町に誇りを持ち、「将来、自分も内子町で働きたい、内子町で暮らしたい」と思う若者を育てるため、継続してふるさと教育に取り組めます。

次に、移住者の受け入れと企業誘致です。コロナ禍において働く環境が変化し、都会から地方へ移住を希望する若い方が増加傾向にあることから、町においても移住者の受け入れ体制を充実してまいります。併せて、県が整備を進めております南予テレワーク移住拠点施設と小田地区のテレワーク関連施設を連携させたテレワーカーの受け入れや、内子町に滞在して働きながら観光を愉しむ「ワーケーション事業」に取り組む、企業誘致につなげます。

次に、災害対策です。近い将来発生のある南海トラフ地震に備え、避難所に指定している老朽化した自治会館の整備や危険家屋の除去、民家などの耐震補強工事を進め、災害に強い安全安心のまちづくりを推進します。

次に、高齢者福祉と自治会活動の支援です。人生100年の時代ですが、元気で長生きしていただくため、関係機関や地元の協力を得ながら体制を整えていきます。また、高齢化により自治会活動が困難になっている地域を支援する組織づくりを行います。

次に、魅力ある景観づくりや生活の基盤整備です。これまでも美しい景観づくりに取り組んでまいりましたが、歴史的な建造物等を修理して活用する組織づくりを行い、次世代に繋げていく

取り組みを行います。また、道路や水道等のインフラの整備などに取り組みます。

次に、次世代技術の活用です。ドローン技術が農業や林業などで活用されていますが、こういった次世代技術を積極的に取り入れたいと考えています。また、マイナンバーカードの普及と電子申請など、行政のデジタル化を推進し、住民サービスの向上に取り組みます。重点的に取り組む項目は以上であります。これが全てではありません。総合計画には様々な取り組みを掲げておりますので、その施策も併せて進めてまいります。これらの取り組みをしっかりと行い、人口減少、少子高齢化に歯止めをかけ、「町並み、村並み、山並みが美しい持続的に発展するまち」を目指し、全力で取り組んでまいります。以上、町長就任にあたっての思いを述べさせていただきました。議員各位におかれましても、活力ある内子町を創造していくため、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本臨時会に町長として提出いたします案件は、補正予算1件、契約1件、人事案件3件の、合計5件でございます。それぞれの案件につきましては、その都度、ご説明申し上げますので、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。臨時議会招集のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（森永和夫君） 以上で、「招集あいさつ」を終わります。

これから、議事日程に従って、提出議案の審議にはまいります。

日程第 4 議認第 1号 令和2年度内子町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて

○議長（森永和夫君） 「日程第4 議認第1号 令和2年度内子町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて」を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 議認第1号、令和2年度内子町一般会計補正予算（第10号）につきましては、期日に施行する必要があり、議会を招集する時間的余裕がなかったため、地方自治法第179条第1項の規定により町長が専決処分したものについて報告し、承認を求めるものでございます。

議案書1の3ページをお願いします。令和2年度内子町一般会計補正予算（第10号）の補正につきましては、歳入歳出それぞれ1,350万円を追加し、歳入歳出予算の総額を12億7,579万円とするもので、前年度12月補正後予算と比較して2億3,590万5,000円の増額、率にして22.8%の増となっております。その内容につきましてご説明いたします。

8ページをお願いします。歳入歳出補正予算事項別明細書の歳出でございます。表中右側の補正額の財源内訳に示しますように、このたびの専決予算の財源につきましては一般財源で対応いたします。

9ページをお願いします。歳入でございます。17款繰入金、1項基金繰入金、1目基金繰入金におきまして、財政調整基金より1,350万円を繰り入れいたします。

10ページをお願いします。歳出でございます。7款商工費、1項商工費、1目商工総務費でございます。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業状況が悪化した町民又は町内の事業者に対し、売上減少率に応じて上限50万円を補助する事業者等経営安定補助金の予算に600万円を追加いたします。さらに、会食の自粛ムードの高まりにより収入が減少した、町内に住所と店舗等を有し、テイクアウト事業を実施する事業者等に対して、15万円を上限に補助する「テイクアウト応援事業」に750万円を、併せて1,350万円の予算を計上しております。いずれも、経営の継続を応援し、地域経済の持続性を図るための追加支援を行う予算としておりますので、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

○議長（森永和夫君） これより、質疑に入ります。質疑はありますか。

○2番（関根律之君） 議長。

○議長（森永和夫君） 関根律之議員。

○2番（関根律之君） 新型コロナ経営安定補助金について質問するんですけど、これはすでに予算化してあったものがさらに申請見込みの件が出てきたので追加予定ということで緊急性があるということで専決処分したということは、理解しているんですけど、もしこれから12件以外にもまた新たに発生したものについては、また拾えるように補正予算を組むことも検討していくという趣旨のことを全協で説明いただいたんですけど、補助金の制度が1回限りで5%以上から申請できる。そして、10%刻みで売り上げ減少率に応じた補助金という制度になっているんですけど、実際、私も商店の方にお聞きしたら39%売り上げ減少があったんだけど切り捨てということで30万円ということになっております。制度上、そういうことなんですけど、こういう方、多くはないと思うんですけど、やはりいらっしゃると思うんですね。その後、第2波、第3波で一度申請したけれどももうその後、これを申請した時点では30%だったけれどもその後あと5割以上の月が出たといった時に、やっぱり私は追加のこういったことを考えるのであれば2回目申請、50万円までは追加給付ができるようなことを考えることはできないかと思うんですけどそのあたり検討いただけるかどうか、お答えいただけますでしょうか。

○商工観光班長（大竹浩一君） 議長。

○議長（森永和夫君） 大竹商工観光班長。

○商工観光班長（大竹浩一君） ご指摘の内容ですけど要綱上、制度は1回限りというふうなことをさせていただいております。それで補助金もご指摘のように5%から10%刻みでそれぞれの上限を設けさせていただいております。実際、2回目、3回目と融資を受けられる方もいらっしゃるわけなんですけど、要綱上、そういったことが当初から想定をされておりましたのでここの一旦、一定条件としてこのような制度にしてはどうかということで、この制度を考えさせていただいておりますので、ご理解をいただいたらと思います。その追加分につきましては現行制度上、2回目もしくは50万円の上限までということは考えておりますのでよろしく申し上げます。

○議長（森永和夫君） 他に質疑はありますか。

○13番（山崎正史君） 議長。

○議長（森永和夫君） 山崎正史議員。

○13番（山崎正史君） 事業費等経営安定補助金、上限が50万円ですけど今までに使っている分で上限が50万円ですから、平均がどのくらいで何個くらい対応したのか。今回組んだ上限

50万、総額600万、行政区側としては、何個くらい対象とみているのか。その点をお伺いいたします。

○商工観光班長（大竹浩一君） 議長。

○議長（森永和夫君） 大竹商工観光班長。

○商工観光班長（大竹浩一君） 当初では150件を見込んでおりましたが、現在1月末現在では申請がそれを越えまして166件の申請が出てきております。その減少率でも特に被害の大きい飲食業にあたりましては68%以上の平均がございます。そういった中でこの制度の申請が出てきているわけなんですけど今後も今もなおお少しずつではありますけれども、コロナの影響で融資を2回目、3回目と借りられる方もいらっしゃると思いますので、それらを見込んだところで8,100万、追加の600万というようなことを計上させていただいております。

○13番（山崎正史君） 議長。

○議長（森永和夫君） 山崎正史議員。

○13番（山崎正史君） 1回補助金いただいたら、2回目はもらえないということで業者側では、なかなか判断がしにくい。例えば先ほど同僚議員からありましたように50%以上になるまで待つという人もいるかに聞くわけなんですけど、1回こっきりだったら補助金ですから、できるだけ手当していただいた方がいいということもあろうかと思うんですけどその辺は、どのように認識させていますか。

○商工観光班長（大竹浩一君） 議長。

○議長（森永和夫君） 大竹商工観光班長。

○商工観光班長（大竹浩一君） 現在、融資を受けられている方とこの補助金を申請されている方に数字の差異があります。その差異の方はご存知のように50%以上の減少になるまで申請を待つという方がいらっしゃるようです。ただ、この補助金申請をされる時には直近1カ月の売り上げがいくらであるかといったところを判断させていただいておりますのでそこらあたりは事業者の方々の申請の判断であると考えております。

○議長（森永和夫君） 他に質疑はありませんか。

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ありませんので、これにて、質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） これにて、討論を終結します。

これより、「議認第1号 令和2年度内子町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて」の採決に入ります。

本案を、原案のとおり承認することに、賛成の方は、起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり、承認することに決定しました。

工事請負変更契約について

○議長（森永和夫君） 「日程第5 議案第1号 第52号平成30年災林地道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事請負変更契約について」を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 議案第1号、第52号平成30年災林地道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事請負変更契約につきましては、県営治山工事の遅延により設計変更が生じる事から工事請負額について変更する必要がある、議会の議決を求めるものでございます。

その内容につきましては、建設デザイン課長に説明致させますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い致します。

○建設デザイン課長（正岡和猶君） 議長。

○議長（森永和夫君） 正岡建設デザイン課長。

〔正岡和猶建設デザイン課長登壇〕

○建設デザイン課長（正岡和猶君） 議案第1号、第52号平成30年災林地道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事請負変更契約についてご説明申し上げます。

議案書1の11ページをお願いします。この変更契約は、地方自治法第96条第1項第5号及び、内子町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定によりまして議会の議決を求めるものでございます。契約の目的は、第52号平成30年災林地道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事請負変更でございます。契約金額は元請負額1億2,903万円を7,843万円減額いたしまして、変更契約額を5,060万円とするものでございます。

契約の相手方は変更ございません。

理由といたしましては、県営治山工事の遅延により設計変更が生じる事から、工事請負額について変更するものでございます。

詳細につきましては、説明資料1ページにてご説明いたします。本工事は資料右上にございますように、平成30年災でございまして、平成30年度に予算措置を行い予算繰越し、議会承認を経て、令和元年8月17日から令和3年3月25日を予定工期として事業を実施してまいりました。しかし、資料、右下の標準断面図の治山愛媛県部分が土質等の再調査により内容の変更が生じ、その対応に不測の日数を要し、治山工事の完成が、令和3年2月末となりました。本災害復旧工事は下部の治山工事により下部を安定させてから、上部の道路本体の復旧を行うこととしており、その間、実施可能なものは、材料の調達と一部の工事の施工となりました。本来は事業繰越しにより、対応するところでございますが、12月定例会の予算決算常任委員会でご説明いたしましたとおり、本事業は30年度予算を元年度へ繰越し、2年度へ事故繰越ししたものでございまして、事故繰越しの繰越しは認められないことから、既成部分に対応する金額に契約を変更し、工事を実施するものでございます。なお、残工事につきましては、3月定例議会に工事請負契約の議案の上程を予定しております。

以上簡単ではございますが、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご

決定賜りますよう、お願い申し上げます。

○議長（森永和夫君） これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

○13番（山崎正史君） 議長。

○議長（森永和夫君） 山崎正史議員。

○13番（山崎正史君） 残工事については、3月の定例に上程されるわけですが、この路線割と長い間通行止めになっているわけですが、残工事が済んだら通行可能な状況になるのか。そして、通行できると予想される時期をお伺いしたらと思います。

○建設デザイン課長（正岡和猶君） 議長。

○議長（森永和夫君） 正岡建設デザイン課長。

○建設デザイン課長（正岡和猶君） この路線工事につきましては、ここの残工事が完了すれば全線通行可能になります。その完成予定時期でございますが、約1年後の来年の3月を予定しております。

○議長（森永和夫君） 他に質疑はありませんか。

○12番（林博君） 議長。

○議長（森永和夫君） 林博議員。

○12番（林博君） 30年災ということで災害発生時には査定も受けて事業に着手をされておろうと思うんですが、こうやっていると対応が伸びた場合、災害の補助あたりは最初の査定の補助が受けれるものなのでしょうか。それを質問したいと思います。

○建設デザイン課長（正岡和猶君） 議長。

○議長（森永和夫君） 正岡建設デザイン課長。

○建設デザイン課長（正岡和猶君） 30年災害でございます、認めていただいている事業でございますので、補助については通常の補助がいただけるということでございます。

○議長（森永和夫君） 他に質疑はありませんか

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ありませんので、これにて質疑を終結します。

これより、討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） これにて、討論を終結します。

これより、「議案第1号 第52号 平成30年災林道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事請負変更契約について」の採決を行います。

本案を原案のとおり決することに、賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 6 議案第 2号 内子町副町長の選任について

○議長（森永和夫君） 「日程第6 議案第2号 内子町副町長の選任について」を議題とします。

提出者の説明を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 議案第2号、内子町副町長の選任についてでございます。本案につきましては、山岡敦氏を内子町副町長に選任致したく、議会のご同意をお願いするものでございます。山岡敦氏は、内子町立石1910番地にお住まいで、昭和38年3月1日のお生まれでございます。昭和60年4月1日、旧小田町役場に本採用され、産業課、中央公民館、税務課、総務課で勤務をされておられます。平成15年11月より「内子町・五十崎町・小田町合併協議会」に出向され、円滑な3町合併にご尽力をいただきました。合併後は、平成23年4月より小田支所課長補佐、平成26年4月より総務課政策調整班長、平成28年4月より総務課長として現在に至っております。人格・識見共に優れ、内子町副町長として最適任であると存じているところでございます。よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い致します。

○議長（森永和夫君） 地方自治法第117条の規定を準用し、山岡総務課長の退席を求めます。

〔山岡敦総務課長退席〕

○議長（森永和夫君） 本案に対する、質疑を許します。質疑はありませんか。

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ありませんので、質疑を終結します。

お諮りします。本案は、人事関係でございますので、討論を省略したいと思います。これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ご異議なしと認めます。

よって、討論を省略し、直ちに採決に入ります。

お諮りします。本案を原案のとおり、これに同意することに、賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

したがって、本案は、原案のとおり、これに同意することに、決定しました。

山岡総務課長の入場を求めます。

〔山岡敦総務課長入場〕

○議長（森永和夫君） 山岡総務課長にお伝えします。ただ今、満場一致をもって、内子町副町長に同意されましたので、ここにお伝えいたします。

ご挨拶があるようでしたら、許可いたします。

○総務課長（山岡敦君） 議長。

○議長（森永和夫君） 山岡総務課長

〔山岡敦総務課長登壇〕

○総務課長（山岡敦君） 失礼いたします。ご挨拶の機会をいただきましたので一言、御礼を申し上げます。只今は、全会一致で私の副町長の選任につきましてご同意をいただき誠にありがとうございます。今、正直申し上げまして副町長という重責に身の引き締まる思いを致

しているところでございます。振り返れば平成26年4月から政策調整班長を拝命して以来、今日までこの議会におきましては議長をはじめ議員各位の皆様、本当にあたたかいご指導をいただきました。本当にありがとうございます。今、こうしてこの場でこのような挨拶をさせていただけるのも皆様方のおかげであると心から厚く御礼を申し上げたいと思います。お見掛けの通り私は浅学非才、まだまだ経験が浅くございます。副町長の重責をまっとうできるかどうか、今はただただ、不安な気持ちでいっぱいでございますけれども、7年間議場で学ばせていただいたこと、これを基に微力ではございますけれども、小野植町長を補佐し、町長の公約の実現、そして、ひいては町民の幸せ、内子町の発展のために、粉骨砕身、誠心誠意努めさせていただく所存でございますので、議員各位におかれましてはこれまで以上に叱咤激励の上、さらなるご指導ご鞭撻を賜りますように心からお願いを申し上げまして、簡単ではございますけれども就任に際しましての挨拶、それからお礼のあいさつとさせていただきます。貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

日程第 7 議案第 3 号 内子町教育委員会委員の任命について

○議長（森永和夫君） 「日程第7 議案第3号 内子町教育委員会委員の任命について」を議題とします。

提出者の説明を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 議案第3号、内子町教育委員会委員の任命についてでございます。本案につきましては、内子町教育委員会委員の山田幸子氏の任期が、令和3年2月15日で任期満了となることから、その後任として高松美栄子氏を任命致したく、議会のご同意をお願いするものでございます。高松美栄子氏は、内子町立山630番地にお住まいで、昭和31年1月2日のお生まれでございます。内子町職員として保育士や幼稚園長を歴任され、幼児教育全般に精通されておられます。また、内子町社会教育委員や内子東自治センター運営審議委員など多数の要職を歴任され、学校教育や社会教育における識見の深さと経験は申し分なく、内子町教育委員会委員に適任であると存じております。よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願い致します。

○議長（森永和夫君） 本案に対する、質疑を許します。質疑はありますか。

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ありませんので、質疑を終結します。

お諮りします。本案は、人事関係でございますので、討論を省略したいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ご異議なしと認めます。よって、討論を省略し、直ちに採決に入ります。

本案を原案のとおり、これに同意することに、賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

よって、本案は、原案のとおり、これに同意することに、決定しました。

日程第 8 議案第 4号 内子町固定資産評価員の選任について

○議長（森永和夫君） 「日程第8 議案第4号 内子町固定資産評価員の選任について」を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 議案第4号、内子町固定資産評価員の選任についてでございます。本案につきましては、内子町固定資産評価員に山岡敦氏を選任致したく、議会のご同意をお願いするものでございます。山岡敦氏は、先ほど内子町副町長に選任いただきましたが、内子町固定資産評価員に最適任と存じております。よろしくご審議の上、ご同意を賜りますようお願い致します。

○議長（森永和夫君） 本案に対する質疑を許します。

〔「なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ありませんので、質疑を終結します。

お諮りします。本案は、人事関係でございますので、討論を省略したいと思います。

これに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ご異議なしと認めます。

したがって、討論を省略し、直ちに採決に入ります。

本案を原案のとおり、これに同意することに、賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

したがって、本案は、原案のとおり、これに同意することに、決定しました。

日程第 9 愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について

○議長（森永和夫君） 「日程第9 愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について」を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって、指名推選にしたいと思います。また、指名の方法については、議長において指名することにと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし。」の声あり〕

○議長（森永和夫君） ご異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は、指名推選によることとし、指名の方法は、議長において指名することに、決定しました。それでは、愛媛県後期高齢者医療広域連合議員に、小野植正久町長を指名します。

お諮りします。ただ今、指名しました、小野植正久町長を愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の当選人とすることに、賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

したがって、ただ今、指名しました、小野植正久町長が、愛媛県後期高齢者医療広域連合議員に、当選されました。ただ今、議員に当選されました、小野植正久町長が、議場におられますので、本席から、会議規則第33条第2項の規定により、告知をいたします。

議員就任のご挨拶があるようでしたら、許可いたします。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 只今は、愛媛県後期高齢者医療広域連合議員に当選をさせていただき誠にありがとうございました。もとより微力ではございますけれども、高齢者の皆様の医療のさらなる充実のために全力でがんばってまいりたいというふうに思っておりますので、引き続き、議員の皆さん方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げお礼のあいさつにかえさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。ありがとうございます。

日程第10 内子町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

○議長（森永和夫君） 「日程第10 内子町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について」を行います。

お諮りします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定によって、指名推選にしたいと思います。また、指名の方法については、議長において指名することにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし。」の声あり]

○議長（森永和夫君） ご異議なしと認めます。

したがって、選挙の方法は、指名推選によることとし、指名の方法は、議長において指名することに決定しました。ここで、資料配布のため、暫時休憩します。

午前10時46分 休憩

午前10時47分 再開

○議長（森永和夫君） 休憩前に続き、会議を開きます。

それでは、選挙管理委員会委員に、内子町大瀬中央4383番地、寺岡博氏、内子町宿間甲129番地、伊達祥一氏、内子町内子1499番地、須内久仁子氏、内子町本川3957番地1、藤村俊仁氏の4名を指名します。

次に、選挙管理委員会補充員に、第1順位に内子町袋口4360番地、城戸正善氏、第2順位に、内子町本川2720番地、亀井勝氏、第3順位に内子町河内793番地、山本隆司氏、第4

順位に、内子町平岡甲1015番地、山上幸久氏の4名を指名します。以上の8名の方の党派は、いずれも無所属であります。

お諮りします。ただ今、指名しました方を、選挙管理委員会委員及び選挙管理委員会補充員の、当選人と定めることに、賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（森永和夫君） 起立全員です。

したがって、ただ今、選挙管理委員会委員に指名しました。寺岡博氏、伊達祥一氏、須内久仁子氏、藤村俊仁氏が、選挙管理委員会委員に、当選されました。また、選挙管理委員会補充員に指名しました。第1順位に城戸正善氏。第2順位に亀井勝氏。第3順位に山本隆司氏。第4順位に山上幸久氏が選挙管理委員会補充員に、当選されました。

○議長（森永和夫君） 以上をもちまして、この臨時会に付議された案件の審議は、すべて終了しました。したがって、本日の会議を閉じます。

ここで、小野植町長より、ごあいさつをお願い致します。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（森永和夫君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 本日は、それぞれ議員の皆様方、お忙しいところ第114回内子町議会臨時会にご出席をいただき本臨時会に提案させていただきました補正予算1件、また契約1件、人事案件3件につきましてご承認を賜りまして誠にありがとうございました。今後特にコロナがまだまだ収束する状況にはございませんけれども、一生懸命コロナ対策にも取り組んで近々の課題として取り組んで参ります。一生懸命これからもがんばっていきたくて考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻いただきますようお願い申し上げ、皆様にお礼を申し述べさせていただきました。どうも今後ともよろしくお願い致します。

○議長（森永和夫君） 以上をもって、第114回内子町議会臨時会を閉会します。

午前10時51分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

内子町議会議長

内子町議会議員

内子町議会議員

第114回臨時会付議事件名及び議決結果一覧表

1 町長提出議案

番号	件名	提出 年月日	議決 年月日	議決結果
議認 1	令和2年度内子町一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認を求めることについて	令和 3.2.12	令和 3.2.12	承認
議案 1	第52号 平成30年災林道亀ヶ谷線災害復旧工事に係る工事変更請負契約について	令和 3.2.12	令和 3.2.12	原案可決
議案 2	内子町副町長の選任について	令和 3.2.12	令和 3.2.12	原案可決
議案 3	内子町教育委員会委員の任命について	令和 3.2.12	令和 3.2.12	原案可決
議案 4	内子町固定資産評価員の選任について	令和 3.2.12	令和 3.2.12	原案可決